

# [第 151 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 6月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 7 月 6 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」  
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.175～  
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2024 年 6 月 1 日(土)、安曇川公民館で第 150 回人間学塾を開きました。今回は、大津、栗東(初参加)からの参加者を入れて 7 名でした。

## ■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

## ■ あらすじ

・中江藤樹の高弟、熊沢蕃山についての解説文(後半)を読みました。(3)蕃山の思想の特徴、(4)政治経済論と古河幽閉、(5)主な著書

## ■ 配布資料

(1)「まなざし 469 号」、(2)熊沢蕃山関係略年表、(3)蕃山先生の足跡、(4)5/30 のレイカディアえにしの会での田中の講演資料、等々

## ■ 今日のポイント

(3)蕃山の思想の特徴… ① 文化の融合…中国からの外来文化・思想と日本の伝統・国情・風俗の融和を誠実に図った。 ② 時・所・位論…政治、教学などの本旨は普遍であるが、その実行には時勢、国情、地位の相違に従って工夫し実情に適合させることが大切である。

(4)蕃山の政治・経済論… ①岡山藩中に陽明の心学を弘め、治山・治水・民政・凶作飢饉対策などに功を立て、持論の実現を図った。 ②彼の所論は常に自分の経験的知識に基づいたもの。庶民と牢人の窮乏に熱い同情を寄せた。 ③彼の主著『大学或問』で、封建政治の矛盾、財政問題、産業経済等について実情と対策を論じ、体制を批判したので、幕府から危険人物視され、晩年は幽閉された。

(5)主な著書… ①『集義和書』(7 月から学びます)、『集義外書』、『大学或問』

## ■ フリートーキング

- ・「時・所・位論は良かった。蕃山は現実的で先駆的な思想を持った人だと思った」
- ・「蕃山は幕府から危険視され幽閉されたが、幕末に生まれていたら吉田松陰らと同じく勤王の志士になっていたかもしれない」→蕃山は吉田松陰ら志士に大きな影響を与えたと思う。
- ・「正義感の強い実践の人、蕃山を今、学べるのはありがたい」
- ・「初めて参加したが、今日の学びは私の琴線に触れてきた。中間管理職として組織を生かしていくために何をすべきか、どうあるべきかを考えたい。月一度自分をみつめ直す機会にしたい」等の意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

